

景況レポート

No.131

2020年4月～6月期



北見しんきん

〒090-8711 北見市大通東1丁目2番地1

電話(代) 0157-66-3111

URL: <http://www.shinkin.co.jp/kitami/>

本レポートはホームページでもご覧になれます。

景気動向

道内景気

日本銀行札幌支店が7月1日に発表した6月の企業短期経済観測調査結果(短観)によりますと、道内企業の景況感を示す業況判断指数(DI:「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を引いた値)は全産業で▲26となり、前回の調査『▲7』から大きく悪化しました。内訳では、製造業(前回▲12→今回▲32)、非製造業(前回▲6→今回▲23)ともに悪化しました。2020年9月までの全産業での先行き予測は▲25と、改善の見通しです。

また、7月1日に発表された道内の金融経済概況は次の通りです。道内の景気は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、大幅に悪化している。観光は厳しい状況にあり、個人消費は大幅に減少しているほか、輸出・生産も減少している。住宅投資は弱めの動きとなっている。設備投資は、弱めの動きとなっている。公共投資は、高水準で推移している。雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに弱めの動きがみられている。

- ・ 公共工事の発注の動きを示す公共工事請負金額は、高水準で推移している。
- ・ 新設住宅着工戸数をみると、持家は弱めの動きとなっている。貸家は低水準で推移している。分譲は高めの水準で推移している。
- ・ 個人消費は、外出を自粛する動きが続く中、サービス消費、百貨店販売を中心に大幅に減少している。この間、在宅時間の長期化などにより、日用品や食料品が堅調に推移しているほか、家電販売では持ち直しの動きがみられている。
- ・ 観光は、厳しい状況にある。
- ・ 消費者物価(除く生鮮食品)は、エネルギー価格を中心に前年を下回っている。
- ・ 企業倒産は、低水準で推移している。

地区内景気

今回の当金庫の景気動向調査による北見地区の景況は、前年同期と比較したDI値は、売上高が▲62と19ポイントの悪化、収益も▲56と16ポイントの悪化でした。直前3ヵ月と比較した今後3ヵ月の見通しでは、売上DI値は▲28、収益DI値は▲32と、改善の見通しとなっています。

特別調査 【新型コロナウイルスの感染拡大による中小企業への影響について】

感染が拡大した新型コロナウイルスは、多くの貴重な人命を奪うとともに、生産活動の混乱や外出自粛の高まりを通じて、中小企業の経営に甚大な被害を与えています。そこで今回は、新型コロナウイルスの感染拡大による中小企業への影響について調査しました。

【事業活動への影響】

「国内消費の不振」が41.4%と最も高くなっています。以下、「営業活動の自粛」が39.2%、「展示会、イベント、商談会等の中止・延期」が31.5%で続いています。対して、「特に影響はなし」は18.2%となっています。

【感染拡大を受けた対応】

「生産量・営業時間の縮小」が37.6%と最も高くなっています。以下、「パートなど非正規社員の勤務時間削減」が13.8%、「給与やボーナス、手当の削減」が8.3%で続いています。対して、「特に対応を行っていない」は46.4%となっています。

【4～6月の売上（例年との比較）】

10%以上減少した企業が全体の57.5%を占めています。対して、「ほぼ変化なし（10%未満の増減）」は37.0%、10%以上増加した企業は5.5%となっています。

【各種制度の活用状況】

資金繰り支援制度は23.3%、支援策は11.1%がすでに利用しています。「申請中である」は資金繰り支援制度で7.2%、支援策で14.4%となっています。また、「今後、利用する可能性がある」は資金繰り支援制度で34.5%、支援策で45.6%に上っており、今後さらに利用申請が増える可能性があります。

【コロナ以前の現預金の保有と2020年の資金繰り】

現預金の保有程度については、「売上の3か月分以上」が20.2%、「売上の1～3か月分」が44.4%となっています。

2020年中の資金繰りについては、「やや不安がある」が45.8%、「かなり不安がある」が17.9%と、合計で約6割の企業が「不安がある」と回答しています。

【貴社の事業活動は、新型コロナウイルスによる影響を受けていますか。次の1～9の中から最大3つまで選んでお答えください。特に影響がなかった方は、0とお答えください。】

		《全国》
1. 営業活動の自粛	39.2%	43.8%
2. 展示会、イベント、商談会等の中止・延期	31.5%	23.1%
3. 国内消費の不振	41.4%	45.0%
4. インバウンド需要の低下	10.5%	6.3%
5. サプライチェーン寸断等により 原材料等の調達が困難	5.5%	8.4%
6. 出社困難者の発生	1.7%	2.8%
7. 店舗や工場等の閉鎖	1.7%	6.7%
8. 取引先の閉鎖等の混乱	14.4%	14.7%
9. その他	6.6%	3.9%
0. 特に影響はなし	18.2%	16.0%

【新型コロナウイルス感染拡大を受けて、貴社ではどのような対応をとられていますか。次の1～9の中から最大3つまで選んでお答えください。特に対応を行っていない方は、0とお答えください。】

		《全国》
1. 生産量・営業時間の縮小	37.6%	24.7%
2. 生産量・営業時間の拡大	1.7%	2.0%
3. 取引条件の見直し	5.5%	7.4%
4. 事業の抜本的な見直し	7.7%	8.0%
5. 社員の削減（非正規職員を含む）	0.6%	2.4%
6. パートなど非正規社員の勤務時間削減	13.8%	17.4%
7. 給与やボーナス、手当の削減	8.3%	10.1%
8. 休業業の検討	3.9%	2.4%
9. その他	7.7%	4.5%
0. 特に対応を行っていない	46.4%	35.0%

【貴社における今期（4～6月）の売上は、仮に新型コロナウイルスの影響がなかった場合（例年の4～6月）と比較して、どの程度変化しましたか。次の1～8の中からお答えください。】

		《全国》
1. 90%以上の減少	1.7%	1.7%
2. 70%以上90%未満の減少	6.6%	5.2%
3. 50%以上70%未満の減少	10.0%	9.5%
4. 30%以上50%未満の減少	7.2%	13.5%
5. 10%以上30%未満の減少	32.0%	29.4%
6. ほぼ変化なし（10%未満の増減）	37.0%	34.6%
7. 10%以上30%未満の増加	4.4%	5.4%
8. 30%以上の増加	1.1%	0.7%

【貴社では、危機関連保証や制度融資など、新型コロナ対応の資金繰り支援制度を利用しましたか。1～5の中からお答えください。また、資金繰り以外の政府による支援策（補助金、休業補償、減税、納税猶予など）を受けましたか。6～8の中からお答えください。】

新型コロナ対応の資金繰り支援制度		《全国》
1. すでに利用した	23.3%	21.9%
2. 申請中である	7.2%	15.2%
3. 今後、利用する可能性がある	34.5%	36.9%
4. 今後利用するつもりはない	34.5%	25.4%
5. 申請したが、利用できなかった	0.5%	0.6%
政府による支援策		
6. すでに利用した	11.1%	11.3%
7. 申請中である	14.4%	18.2%
8. 今後、利用する可能性がある	45.6%	46.5%
9. 今後利用するつもりはない	27.8%	23.4%
0. 申請したが、利用できなかった	1.1%	0.7%

【災害や急な不況の対策として、常時、手元の流動性資金の確保をしていると思いますが、貴社では、新型コロナウイルスの影響が出る以前、現預金をどの程度保有していましたか。現預金の保有が最も少ない時期（売掛金の回収直前など）を想定したうえで、1～6の中からお答えください。また、貴社では2020年中の資金繰りについて、どう考えますか。7～8の中からお答えください。】

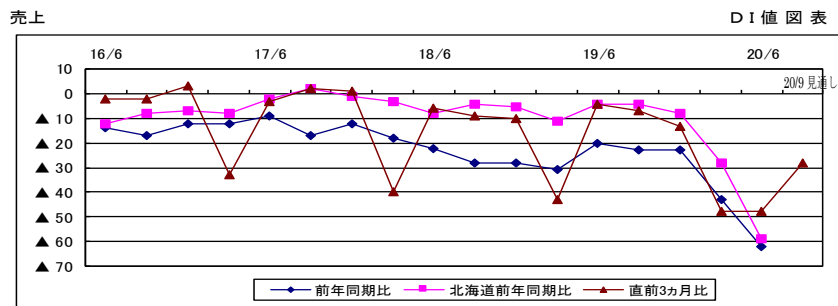
現預金の保有程度		《全国》
1. 売上げの3か月分以上	20.2%	24.9%
2. 売上げの1～3か月分	44.4%	42.3%
3. 売上げの2週間分～1か月分	10.1%	15.8%
4. 売上げの2週間分未満	6.2%	6.0%
5. ほとんど保有していない	14.6%	6.6%
6. 把握していない	4.5%	4.4%
2020年中の資金繰り		
7. 不安はない	8.9%	11.9%
8. あまり不安はない	27.4%	26.3%
9. やや不安がある	45.8%	47.2%
0. かなり不安がある	17.9%	14.6%

売上

調査対象先企業181社の売上を総体的にみますと、前年同期（19年4～6月）と比較して「増加」した先9%、「変らず」の先20%、「減少」した先71%で、そのD I値（増加割合－減少割合）は▲62となり、前回調査より19ポイント悪化しました。

業種別でみますと、建設業は改善、製造業・卸売業・小売業・サービス業は悪化となっています。

3ヵ月毎の比較では横ばい、今後3ヵ月は改善の見込みです。



グラフに掲載している北海道の「前年同期比」のデータは、本調査と同時に行った全道の信用金庫によるお取引先を対象とした調査結果のもので、1ページ目の日銀短観とは別の調査によるものです。

調査時期	16/6	16/9	16/12	17/3	17/6	17/9	17/12	18/3	18/6	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6
前年同期比	▲12	▲8	▲7	▲8	▲2	2	▲1	▲3	▲8	▲4	▲5	▲11	▲4	▲4	▲8	▲28	▲59

※前年同期比の来期見通しは調査していません。

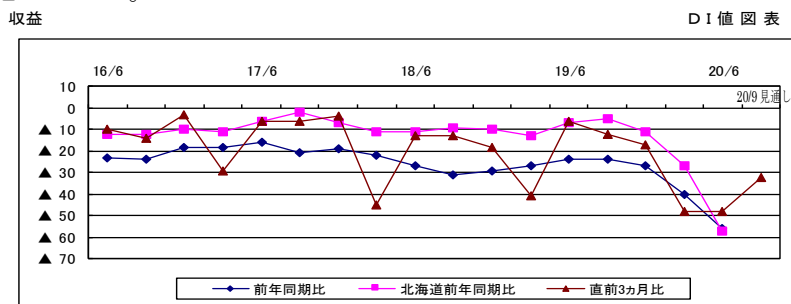
調査時期	16/6	16/9	16/12	17/3	17/6	17/9	17/12	18/3	18/6	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9見通し
直前3ヵ月比	▲2	▲2	3	▲33	▲3	2	1	▲40	▲6	▲9	▲10	▲43	▲4	▲7	▲13	▲48	▲48	▲28

収益

調査対象先企業181社の収益を総体的にみますと、前年同期（19年4～6月）と比較して「増加」した先10%、「変らず」の先24%、「減少」した先66%で、そのD I値（増加割合－減少割合）は▲56となり、前回調査より16ポイント悪化しました。

業種別でみますと、製造業は改善、卸売業・小売業・建設業・サービス業は悪化となっています。

3ヵ月毎の比較では横ばい、今後3ヵ月は改善の見込みです。



グラフに掲載している北海道の「前年同期比」のデータは、本調査と同時に行った全道の信用金庫によるお取引先を対象とした調査結果のもので、1ページ目の日銀短観とは別の調査によるものです。

調査時期	16/6	16/9	16/12	17/3	17/6	17/9	17/12	18/3	18/6	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6
前年同期比	▲12	▲12	▲10	▲11	▲6	▲2	▲7	▲11	▲11	▲9	▲10	▲13	▲7	▲5	▲11	▲27	▲57

※前年同期比の来期見通しは調査していません。

調査時期	16/6	16/9	16/12	17/3	17/6	17/9	17/12	18/3	18/6	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9見通し
直前3ヵ月比	▲10	▲14	▲3	▲29	▲6	▲6	▲4	▲45	▲13	▲13	▲18	▲41	▲6	▲12	▲17	▲48	▲48	▲32

概況

調査先製造業全体の業況を前年同期（19年4～6月）と比較してみますと、売上で「増加」した先9%、「変らず」の先17%、「減少」した先74%で、そのDI値（増加割合－減少割合）は▲65となり、前回調査より4ポイント悪化しました。

収益は「増加」した先6%、「変らず」の先30%、「減少」した先64%で、そのDI値（増加割合－減少割合）は▲58となり、前回調査より3ポイント改善しました。

調査回答数（前年同期比）

		増加	変らず	減少	DI値
売上	前回(20/3)	3	6	22	▲61
	今回(20/6)	3	5	23	▲65
収益	前回(20/3)	1	10	20	▲61
	今回(20/6)	2	9	20	▲58

動向

【前年同期との比較】

売上は悪化、収益は改善しました。

内訳をみますと、建設関連は改善しましたが、特に食料品が悪化しています。

【直前3ヵ月との比較】

売上・収益ともに改善しました。

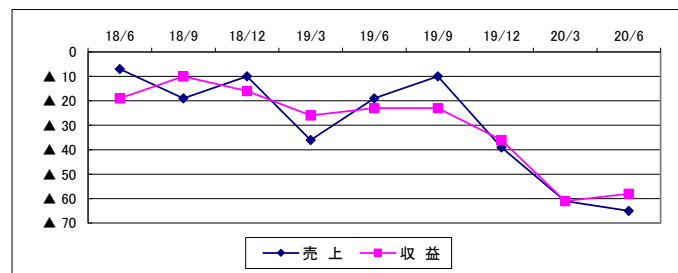
【今後3ヵ月の見通し】

売上・収益ともに改善する見通しです。

調査員のコメントには、「新型コロナウイルスの収束の見通しが立たないため、今後も影響が続くと資金繰りの面で不安である」「新型コロナウイルスによる自粛期間は、新商品開発に注力した」といったものがありました。

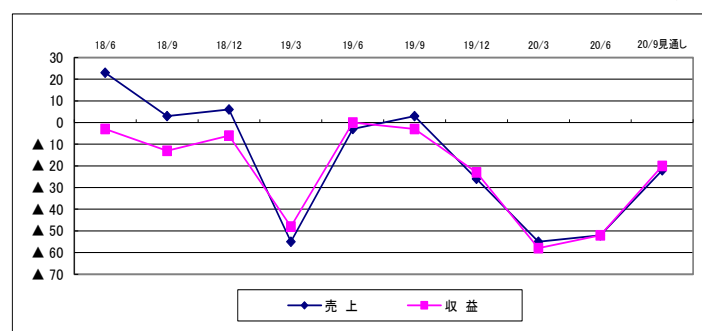
前年同期比

DI値図表



直前3ヵ月比

DI値図表



調査時期	18/6	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9見通し
売上	23	3	6	▲55	▲3	3	▲26	▲55	▲52	▲22
収益	▲3	▲13	▲6	▲48	0	▲3	▲23	▲58	▲52	▲20

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

項 目		全 体	食 料 品	木材製品	建設関連	そ の 他
売 上 額	1月～3月と比較	▲ 52	▲ 100	▲ 30	▲ 14	▲ 71
	7月～9月の見通し	▲ 22	▲ 14	▲ 20	0	▲ 57
収 益	1月～3月と比較	▲ 52	▲ 100	▲ 30	▲ 14	▲ 71
	7月～9月の見通し	▲ 20	14	▲ 20	▲ 14	▲ 57
販売価格	1月～3月と比較	0	0	▲ 10	14	0
	7月～9月の見通し	▲ 7	0	▲ 30	0	14
原材料 価 格	1月～3月と比較	10	14	0	14	14
	7月～9月の見通し	6	43	▲ 20	0	14
原材料 在 庫	1月～3月と比較	26	43	30	▲ 14	43
	7月～9月の見通し	17	14	30	▲ 29	43
資金繰	1月～3月と比較	▲ 29	▲ 43	▲ 30	0	▲ 43
	7月～9月の見通し	▲ 22	15	▲ 40	0	▲ 57

概 況

調査先卸売業全体の業況を前年同期（19 年 4～6 月）と比較してみますと、売上で「増加」した先 9%、「変らず」の先 9%、「減少」した先 82%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲73 となり、前回調査より 38 ポイント悪化しました。

収益は「増加」した先 13%、「変らず」の先 19%、「減少」した先 68%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲55 となり、前回調査より 20 ポイント悪化しました。

販売価格は「増加」した先 9%、「変らず」の先 77%、「減少」した先 14%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲5 となり、前回調査より 15 ポイント下降しました。

調査回答数（前年同期比）

		増加	変らず	減少	D I 値
売上	前回 (20/3)	4	5	11	▲35
	今回 (20/6)	2	2	18	▲73
収益	前回 (20/3)	4	5	11	▲35
	今回 (20/6)	3	4	15	▲55
販売価格	前回 (20/3)	4	14	2	10
	今回 (20/6)	2	17	3	▲5

動 向

【前年同期との比較】

売上・収益ともに悪化し、販売価格は下降しました。
内訳をみますと、食料品・その他が悪化しています。

【直前3ヵ月との比較】

売上・収益ともに改善し、販売価格は下降しました。

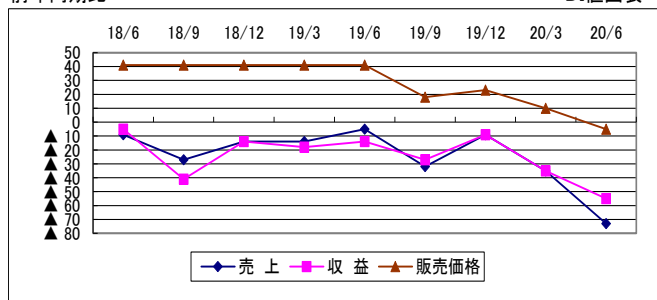
【今後3ヵ月の見通し】

売上・収益ともに改善し、販売価格は上昇する見通しです。

調査員のコメントには、「新型コロナウイルスの影響により、商品展示会の多くが中止となったため、売上が減少している」「コロナ禍の中、働き方を見直す必要性を実感した。新たな営業モデルを確立させたい」といったものがありました。

前年同期比

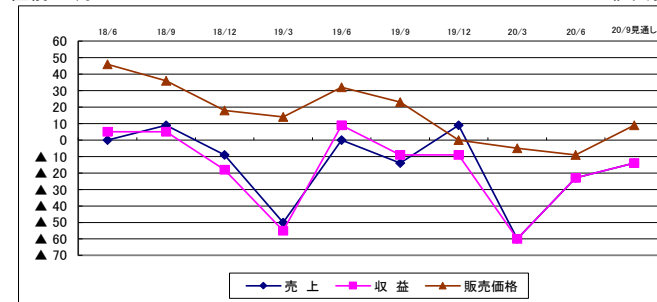
DI値図表



調査時期	18/6	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6
売上	▲9	▲27	▲14	▲14	▲5	▲32	▲9	▲35	▲73
収益	▲5	▲41	▲14	▲18	▲14	▲27	▲9	▲35	▲55
販売価格	41	41	41	41	41	18	23	10	▲5

直前3ヵ月比

DI値図表



調査時期	18/6	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9見通し
売上	0	9	▲9	▲50	0	▲14	9	▲60	▲23	▲14
収益	5	5	▲18	▲55	9	▲9	▲9	▲60	▲23	▲14
販売価格	46	36	18	14	32	23	0	▲5	▲9	9

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

項 目		全 体	食 料 品	建設関連	そ の 他
売 上 額	1月～3月と比較	▲23	▲100	38	▲14
	7月～9月の見通し	▲14	▲14	25	▲57
収 益	1月～3月と比較	▲23	▲86	25	▲14
	7月～9月の見通し	▲14	0	13	▲57
販売価格	1月～3月と比較	▲9	▲43	13	0
	7月～9月の見通し	9	14	13	0
仕入価格	1月～3月と比較	5	0	13	0
	7月～9月の見通し	14	29	13	0
在 庫	1月～3月と比較	18	43	▲13	29
	7月～9月の見通し	5	14	▲13	14
資 金 繰	1月～3月と比較	▲32	▲57	▲13	▲29
	7月～9月の見通し	▲36	▲57	▲25	▲29

概 況

調査先小売業全体の業況を前年同期（19年4～6月）と比較してみると、売上で「増加」した先7%、「変らず」の先16%、「減少」した先77%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲70となり、前回調査より22ポイント悪化しました。

収益は「増加」した先15%、「変らず」の先10%、「減少」した先75%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲60となり、前回調査より10ポイント悪化しました。

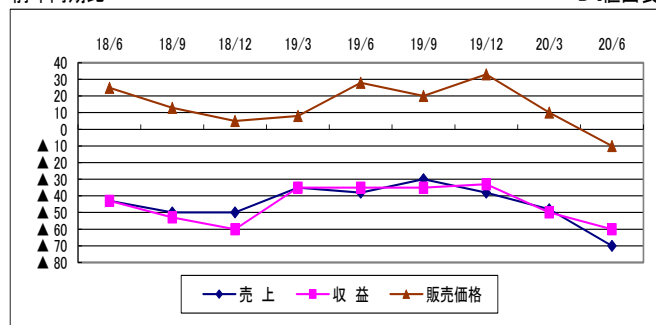
販売価格は「増加」した先12%、「変らず」の先66%、「減少」した先22%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲10となり、前回調査より20ポイント下降しました。

調査回答数（前年同期比）

		増加	変らず	減少	D I 値
売上	前回(20/3)	6	9	25	▲48
	今回(20/6)	3	6	31	▲70
収益	前回(20/3)	7	6	27	▲50
	今回(20/6)	6	4	30	▲60
販売価格	前回(20/3)	9	26	5	10
	今回(20/6)	5	26	9	▲10

前年同期比

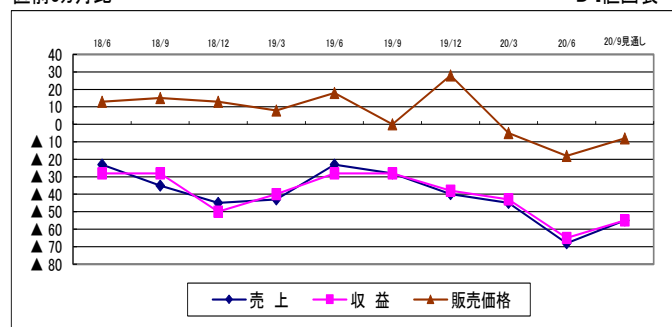
D I 値図表



調査時期	18/6	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6
売上	▲43	▲50	▲50	▲35	▲38	▲30	▲38	▲48	▲70
収益	▲43	▲53	▲60	▲35	▲35	▲35	▲33	▲50	▲60
販売価格	25	13	5	8	28	20	33	10	▲10

直前3ヵ月比

D I 値図表



調査時期	18/6	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9見通し
売上	▲23	▲35	▲45	▲43	▲23	▲28	▲40	▲45	▲68	▲55
収益	▲28	▲28	▲50	▲40	▲28	▲28	▲38	▲43	▲65	▲55
販売価格	13	15	13	8	18	0	28	▲5	▲18	▲8

動 向

【前年同期との比較】

売上・収益ともに悪化し、販売価格は下降しました。

内訳をみましても、全般的に悪化しています。

【直前3ヵ月との比較】

売上・収益ともに悪化し、販売価格は下降しました。

【今後3ヵ月の見通し】

売上・収益ともに改善し、販売価格は上昇する見通しです。

調査員のコメントには、「新型コロナウイルスの影響により来店客数が減少しており、売上也減少している」「テイクアウトやデリバリーの活用を宣伝するなど、様々な対策に取り組んでいる」といったものがありました。

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

項 目		全 体	衣 料 品	食 料 品	そ の 他
売 上 額	1月～3月と比較	▲68	▲83	▲83	▲55
	7月～9月の見通し	▲55	▲67	▲83	▲36
収 益	1月～3月と比較	▲65	▲100	▲92	▲41
	7月～9月の見通し	▲55	▲83	▲83	▲32
販売価格	1月～3月と比較	▲18	▲33	▲8	▲18
	7月～9月の見通し	▲8	▲17	▲8	▲5
仕入価格	1月～3月と比較	5	▲17	25	0
	7月～9月の見通し	10	0	25	5
在 庫	1月～3月と比較	0	67	▲17	▲9
	7月～9月の見通し	▲8	17	▲17	▲9
資金繰	1月～3月と比較	▲55	▲67	▲83	▲36
	7月～9月の見通し	▲48	▲50	▲75	▲32

概況

調査先建設業全体の業況を前年同期（19年4～6月）と比較してみますと、売上で「増加」した先20%、「変らず」の先34%、「減少」した先46%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲26となり、前回調査より17ポイント改善しました。

収益は「増加」した先17%、「変らず」の先40%、「減少」した先43%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲26となり、前回調査より9ポイント悪化しました。

調査回答数（前年同期比）

		増加	変らず	減少	D I 値
売上	前回(20/3)	5	10	20	▲43
	今回(20/6)	7	12	16	▲26
収益	前回(20/3)	7	15	13	▲17
	今回(20/6)	6	14	15	▲26

動向

【前年同期との比較】

売上は改善、収益は悪化しました。

内訳のD I 値の推移は以下のようになっています。

- ・ 土木売上：前回▲42→今回▲17
- ・ 同 収益：前回▲33→今回▲33
- ・ 建築売上：前回▲31→今回▲50
- ・ 同 収益：前回▲6→今回▲38

【直前3ヵ月との比較】

売上・収益ともに改善しました。

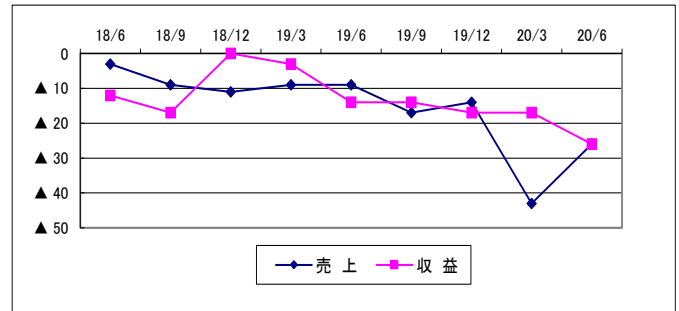
【今後3ヵ月の見通し】

売上・収益ともに改善の見通しです。

調査員のコメントには、「新型コロナウイルスの影響により、資材納入に遅れが生じたことが原因となり、売上が減少した」「春先より受注状況は堅調に推移し、秋口までの仕事が決まっている」といったものがありました。

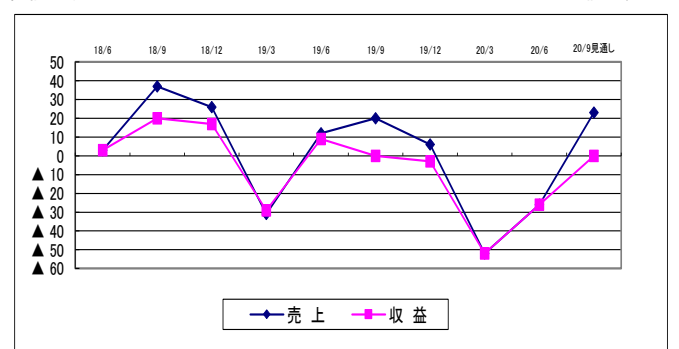
前年同期比

DI値図表



直前3ヵ月比

DI値図表



調査時期	18/6	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9見通し
売上	3	37	26	▲31	12	20	6	▲52	▲26	23
収益	3	20	17	▲29	9	0	▲3	▲52	▲26	0

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

項 目		全 体	土 木	建 築	そ の 他
売上額	1月～3月と比較	▲26	▲42	▲31	14
	7月～9月の見通し	23	25	25	14
施工高	1月～3月と比較	▲14	▲33	▲19	29
	7月～9月の見通し	11	8	13	14
収 益	1月～3月と比較	▲26	▲33	▲31	0
	7月～9月の見通し	0	▲8	0	14
請負価格	1月～3月と比較	▲9	▲8	0	▲29
	7月～9月の見通し	3	0	6	0
材料価格	1月～3月と比較	46	33	63	29
	7月～9月の見通し	29	25	38	14
在 庫	1月～3月と比較	6	0	6	14
	7月～9月の見通し	▲3	▲8	6	▲14
資金繰	1月～3月と比較	11	25	0	14
	7月～9月の見通し	3	17	▲13	14

概況

調査先サービス業全体の業況を前年同期(19年4～6月)と比較してみると、売上で「増加」した先4%、「変らず」の先18%、「減少」した先78%で、そのD I 値(増加割合－減少割合)は▲74 となり、前回調査より44ポイント悪化しました。

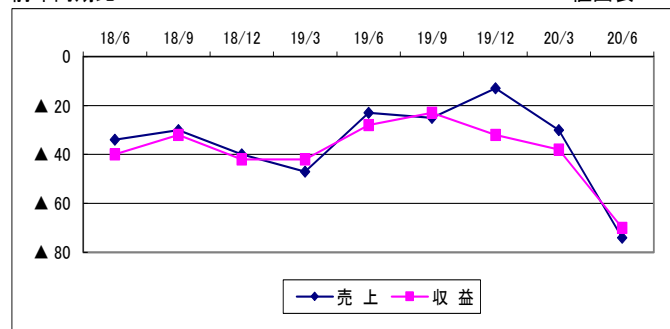
収益は「増加」した先4%、「変らず」の先22%、「減少」した先74%で、そのD I 値(増加割合－減少割合)は▲70 となり、前回調査より32ポイント悪化しました。

調査回答数(前年同期比)

		増加	変らず	減少	D I 値
売上	前回(20/3)	11	15	27	▲30
	今回(20/6)	2	10	41	▲74
収益	前回(20/3)	8	17	28	▲38
	今回(20/6)	2	12	39	▲70

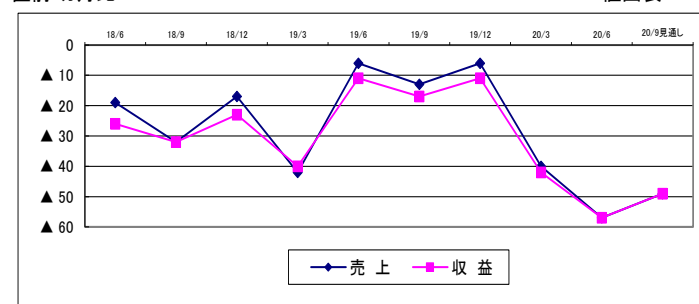
前年同期比

DI値図表



直前3ヵ月比

DI値図表



調査時期	18/6	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9見通し
売上	▲19	▲32	▲17	▲42	▲6	▲13	▲6	▲40	▲57	▲49
収益	▲26	▲32	▲23	▲40	▲11	▲17	▲11	▲42	▲57	▲49

動向

【前年同期との比較】

売上・収益ともに悪化しました。

内訳をみましても、一部を除き悪化しています。

【直前3ヵ月との比較】

売上・収益ともに悪化しました。

【今後3ヵ月の見通し】

売上・収益ともに改善する見通しです。

調査員のコメントには、「緊急事態宣言が解除となり、客足がしだいに戻りつつある」「顧客に対する感染予防対策に気を配っている。そのため、業務のひとつひとつに手順が追加され、作業効率は低下している」といったものがありました。

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

項 目		全 体	理容美容	車両関係	そ の 他
売上額	1月～3月と比較	▲57	▲67	▲36	▲63
	7月～9月の見通し	▲49	▲44	▲43	▲53
収益	1月～3月と比較	▲57	▲67	▲29	▲67
	7月～9月の見通し	▲49	▲44	▲43	▲53
料金価格	1月～3月と比較	▲13	▲11	▲7	▲17
	7月～9月の見通し	▲13	▲11	▲21	▲10
材料価格	1月～3月と比較	6	▲11	22	3
	7月～9月の見通し	6	▲11	0	13
資金繰	1月～3月と比較	▲45	▲33	▲36	▲53
	7月～9月の見通し	▲47	▲22	▲50	▲53

経営上の問題点 【複数回答】

	1 位	2 位	3 位
製造業	売上の停滞・減少 74.2%	人手不足 32.3%	工場・機械の狭小・老朽化 25.8%
卸売業	売上の停滞・減少 40.9%	同業者間の競争の激化 36.4%	利幅の縮小 36.4%
小売業	売上の停滞・減少 75.0%	商圈人口の減少 32.5%	利幅の縮小 25.0%
建設業	人手不足 65.7%	売上の停滞・減少 54.3%	材料価格の上昇 40.0%
サービス業	売上の停滞・減少 64.2%	商圈人口の減少 20.8%	利幅の縮小 18.9%

経営施策 【複数回答】

	1 位	2 位	3 位
製造業	経費を節減する 54.8%	販路を広げる 51.6%	人材を確保する 48.4%
卸売業	情報力を強化する 63.6%	販路を広げる 45.5%	経費を節減する 45.5%
小売業	経費を節減する 57.5%	売れ筋商品を取扱う 35.0%	品揃えを改善する 32.5%
建設業	人材を確保する 65.7%	技術力を高める 51.4%	経費を節減する 40.0%
サービス業	経費を節減する 47.2%	販路を広げる 32.1%	技術力を強化する 24.5%

【調査要領】

1. 調査地域 北見地方1市4町（北見市、置戸町、訓子府町、美幌町、津別町）
2. 調査時点 2020年 6月
2020年 4月～ 6月期の実績および見込み
2020年 7月～ 9月期の見通し
3. 調査対象企業 当金庫お取引先181社（任意抽出）
回答企業数 181社
回答率 100%
4. 調査方法 調査表による訪問聞き取り調査
調査表は信金中央金庫が実施する「全国中小企業景気動向調査」と同一のものを使用
5. 業種別回答企業数

製造業	卸売業	小売業	建設業	サービス業	合 計
31	22	40	35	53	181

6. 分析方法
各質問項目を100分比に換算し、パーセント（%）数値による分析を行いました。また、好転か悪化の傾向をみる方法として、「増加割合－減少割合＝判断指数（DI値）」で分析を行いました。

「新型コロナウイルス肺炎対応 金融相談窓口」の設置について

さまざまな業種のお客さまに、新型コロナウイルス感染症の影響が拡大しております。
当金庫では、下記のサテライト店を除く本支店窓口に「新型コロナウイルス肺炎対応金融相談窓口」を設置しております。各種経営相談や、円滑な資金供給を通じて地域をサポートいたします。

サテライト店（相談窓口を設置していません）

温根湯支店、相内支店、ことぶき支店、南大通支店【北見市】
南支店、しらかば支店【帯広市】
南が丘支店【紋別市】

本店営業部では土・日・祝日もご相談を承っております。

管内主要経済指標

北海道財務局北見出張所調べ

		単位	2020年1月		2020年2月		2020年3月		備 考
			実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	
消費	主要小売店売上高	百万円	6,889	▲ 1.1	6,492	3.7	6,877	1.3	管内主要小売店 (社)日本自動車販売協会 連 合 会 北 見 支 部
	新車登録台数	台	664	▲ 10.6	783	▲ 9.0	1,171	▲ 11.8	
	うち乗用車	台	529	▲ 14.3	638	▲ 7.5	899	▲ 12.1	
建設	新設住宅着工数	戸	42	82.6	19	▲ 71.6	29	▲ 23.7	国 土 交 通 省 北海道建設業信用保証(株)
	公共事業 (前払金保証請負金額)	百万円	339	▲ 53.2	963	19.6	7,286	▲ 19.0	
観光	知床宿泊者数	人	18,949	▲ 2.0	28,675	▲ 18.3	6,056	▲ 71.9	知床斜里町観光協会 網走市観光協会 オホーツク管内各観光施設 オホーツク総合振興局網走建設 管理部女満別空港管理事務所
	主要観光施設入り込み数	人	40,711	3.5	127,656	▲ 19.4	15,056	▲ 80.1	
	女満別空港利用客数	人	58,461	4.8	67,057	▲ 10.4	22,779	▲ 66.3	
金融	預 金	億円	12,820	2.0	12,855	2.2	12,856	1.4	北海道財務局北見出張所
	貸 出 金	億円	4,939	1.8	4,940	2.6	5,040	0.8	
	貸出約定平均金利	%	1.266	▲ 0.050	1.265	▲ 0.047	1.243	▲ 0.034	
雇用	月間有効求人倍率	倍	1.23	0.00	1.26	0.10	1.16	0.02	北 見 ・ 網 走 ・ 紋 別 公 共 職 業 安 定 所
	新規求人数	人	1,416	▲ 17.9	1,883	18.4	1,593	1.4	

(注1) 前年比は、貸出約定平均金利、月間有効求人倍率がポイント、その他は増減率(%)

(注2) 金融はゆうちょ銀行を除く

(注3) 雇用はパートタイマーを含む